

岩手郡医報

高橋 孝先生 書



岩 手 郡 医 師 会

No.85／2006年10月

目次 CONTENTS

卷頭言	岩手郡医師会 会長 及川忠人	1
基本重点活動方針		2
各担当別事業計画		2
新担当理事紹介		3
総会議事録		4
理事会議事録		7
お知らせ		8
総務会報告		9
各部会活動		11
会員の入会・退会・異動		15

第8回 「生命を見つめる」 フォトコンテスト 作品募集中！

日本医師会では今年度も第8回の「生命を見つめるフォトコンテスト」を企画しました。

審査員

田沼武能(日本写真家協会会長)

椎名 誠(作家)

ロザンナ(歌手)

織作峰子(写真家)ほか

応募先

〒104-8325

東京都中央区京橋2-9-2

読売新聞東京本社

事業開発部「フォトコンM」係

◆郵便番号だけでも着きます◆

賞

最優秀賞…1点(30万円)

優秀賞…3点(10万円)

入選…5点(5万円)

佳作…20点(図書券5千円分)

お問い合わせ

TEL 03-5159-5886

締め切り

平成18年11月17日(必着)



主催：日本医師会/読売新聞社



卷頭言

会長 及川忠人

平成18年度の初めての会報が発刊されることになり、このことは誠に有り難いことであり、益々会員相互の理解と激動する医療情勢への情報共有化のために少しでもお役に立つ事を願っております。引き続き広報担当理事就任の柄内秀彦先生、ならびに会報編集委員会の諸先生方の今後のご活躍を期待する次第であります。平成18年4月から史上最大のマイナス改定となった診療報酬改正への対応に、それぞれの会員の諸先生方にはかなりの負担を負っていると予想しております。直近の医療法改革法案の国会での成立を受けて、大変多忙なスケジュールが展開されることが予想されますので、会員の諸先生方におかれましては、各自の事業体への影響をなるべく少なくする努力を重ねられることを、御願い申し上げます。

6月上旬に東京で開催された第43回日本リハビリテーション医学会学術集会で日本福祉大学の近藤克則先生が講演され、Relmanの論文を引用して現在の時代は第3次医療改革の時代と位置づけており、興味をそそる内容に感激を覚えました。1950年代の医療基盤拡張の時代から1980年代の医療費抑制の時代と続き、これからは医療の質の評価が重要となりインフォームドコンセントが極めて重要になる、第三の医療改革の時代へと大きく変革する流れの中に居ることを意識すべきであると指摘しておりました。

岩手医大教養部設立20周年のときに、教養部三戸校舎にはヒポクラテスの木と、記念碑が設置されており、その中に「人生は短く、学は遙けし、機は逸し易く、試みは過ち多く、判断は至難なり」とヒポクラテスの箴言からのギリシャ語からの日本語訳が記されております。来年春には教養部が薬学部の設置と同時に矢巾校舎に移転されることを振り返りますと、限りない母校の発展を祈らずにはおれません。このヒポクラテスの箴言は我々岩手郡医師会会員が日常臨床活動や社会啓発活動等で活動する時の、重要な哲学的示唆を含んでいて、味わい深い言葉であると思います。

本年8月27日（日）に零石町営球場を中心に第58回岩手県医師会親睦野球大会が当医師会の担当で開催されました。会員諸先生方の絶大なるご支援とご協力に御礼申し上げまして、岩手郡医報の巻頭言の挨拶に代える次第です。

平成18年度岩手郡医師会 基本重点活動方針

- 1) 野球大会を成功裡に開催する万全の準備を行う
- 2) 多くの会員が参加する医師会活動を目指す
- 3) 地域医療の質的向上に資する学術活動の活発化を目指す
- 4) 広報等、各部門別の委員会部会活動の活発化を図る
- 5) IT化への環境調査等を行う

各担当別事業計画

会長 及川忠人

副会長 篠村達雅・岡田行生

総務 栄内秀彦・久保谷康夫
高橋邦尚

- 1 医政の強化
- 2 医療情報システムの充実
- 3 災害時医療救護体制の充実
- 4 会員の自浄作用の活性化
- 5 医師会活動への積極的参加の促進
- 6 個人情報保護法への対応

地域医療 飯島 仁・森 茂雄・高橋邦尚

- 1 かかりつけ医機能と病診連携の推進
- 2 感染症対策への対応と予防対策の充実
- 3 地域包括支援センター運営協議会への協力
- 4 地域リハビリテーション体制構築への支援
- 5 ケアマネージャーとの連携の強化

医療保険 佐々木久夫・久保谷康夫

- 1 適正な保険診療への啓発および対応
- 2 在宅医療および在宅訪問サービスの充実
- 3 介護予防体制への整備協力および支援

産業保険 森 茂雄・高橋克郎・山口淑子

- 1 産業研修事業への対応
- 2 メンタルヘルスの向上とその支援
- 3 医療職員の健康情報保護対策

学校保健 上原充郎・佐々木久夫
山口淑子・高橋克郎

- 1 地域ぐるみの教育環境整備
- 2 人間の命（いのち）の大切さへの啓発
- 3 学童の心の問題への取り組み
- 4 学童の感染症対策および結核対策の啓発
- 5 思春期保健の向上

勤務医 岡田行生・和田 進・高橋克郎

- 1 研修医制度への支援と対応
- 2 地域のかかりつけ医との連携体制の強化
- 3 勤務医に魅力ある医師会活動の実施

広報 栄内秀彦・和田 進・山口淑子

- 1 積極的な広報活動の推進と広報委員会活動の充実
- 2 岩手郡医報の内容吟味および充実
- 3 地域住民への広報活動の充実

生涯教育 飯島 仁・和田 進

- 1 生涯教育制度への啓発および向上
- 2 生涯教育研修への積極的参加の促進
- 3 ホスピスケアへの啓発活動の継続

健康教育 高橋克郎・和田 進・山口淑子

- 1 市町村民健康講座の実施
- 2 健康啓発活動および予防活動の積極的参加の推進
- 3 スポーツ医学の啓発と地域スポーツ活動への支援

有床診療所 篠村達雅・高橋邦尚

- 1 総合支援診療所の普及
- 2 かかりつけ医と病院・診療所との連携の強化

医師連盟 飯島 仁・佐々木久夫
上原充郎・森 茂雄

- 1 各選挙への協力・対応
- 2 各地域での支援活動の活発化
- 3 国民皆保険制度堅持への啓発

新 担 当 理 事 紹 介



及川忠人
会長



高橋牧之介
顧問



篠村達雅
副会長／有床診療所
診療所部会幹事



岡田行生
副会長／勤務医
勤務医部会幹事



柄内秀彦
総務／広報
県医師会広報委員



久保谷康夫
総務／医療保険
労災部会幹事



高橋邦尚
総務／地域医療
有床診療所



飯島仁
地域医療／生涯教育／医師連盟
生涯教育委員会委員



森茂雄
地域医療／産業保険／医師連盟
産業医部会幹事



佐々木久夫
医療保険／学校保健医師連盟
保険問題協議会委員



高橋克郎
産業保険／学校保健／勤務医／健康教育
成人病検診協議会委員



山口淑子
産業保険／学校保健
広報／健康教育



上原充郎
学校保健／医師連盟
学校医部会幹事



和田進
勤務医／広報／
生涯教育／健康教育



西島康之
監事



高橋孝
監事



平野隆 佐々木清 事務局長 中輕米正行
事務局

総会議事録

平成18年度岩手郡医師会第1回通常総会

日 時：平成18年6月10日（土）16時
場 所：ホテル・ニューカリーナ

《通常総会次第》

進行 栢内 秀彦 理事
開会 岡田 行生 副会長
議長選出 飯島 仁
定足数確認
議事録署名人選出 2名
会長挨拶 及川 忠人 会長
《議事報告》
報告1) 各部会報告

- 2) 野球大会準備状況について
3) その他
議事1) 第1号議案 平成17年度岩手郡医師会一般会計決算(案)
2) 第2号議案 平成17年度岩手郡医師会休祭日当番医決算(案)
3) 第3号議案 平成17年度岩手郡医師会特別会計決算(案)
4) 第4号議案 第38回岩手県医師会親睦野球大会予算(案)
5) 第5号議案 その他

■■■ 平成18年度第1回岩手郡医師会通常総会挨拶要旨 ■■■

岩手郡医師会長 及川 忠人

本日はご多忙の土曜日にもかかわらず、多数の郡医師会会員諸先生方にお集まりいただき、平成18年度第1回通常総会を開催することが出来ますことを感謝申し上げます。

さて、平成18年度の社会保険診療報酬及び介護保険療養費の改定を受けて、すでに2ヶ月以上経過しております。これまで様々な社会保険上の申し込みが成され、大過なく届出を済ませた医療機関がほとんどではないかと思います。

今回の診療報酬改定において厚生労働省は医療費の抑制の要の一つとして生活習慣病の予防をとりあげております。昨今生活習慣病よりはメタボリック症候群との命名がなされておりますが、国民の40歳以上の940万人がメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）であるとの推定が5月8日の厚生労働省から発表されております。20歳から90歳の1億2000万人中有病者は1300万人であり、予備群は1400万人と推計され今後の生活習慣病に対する啓発・改善の方向が益々必要となるデータであると思われます。多くの地域の関連領域の方々の協力と支援が今後必要であり我が医師会も例外ではありません。

一方療養型病床の再編問題は大きな過渡期に来ていることは大きな課題であります。先日5月17日に岩手県医師会主催の療養型病床の説明会がありましたが、告示がなされていないため、明確に答えることが出来ないという行政側の論旨が目立ちました。ただ、大きな過程の中に不安に明け暮れた療養型病床廃止が論議され、現場の状況を経ることなくその方向が進んでいる最中に日本医師会の会長選挙が実際に進行中であったことは、現場の会員としては何とも残念なことであったと思います。様々な環境と老人

保健施設自体のベッド制限とが今後の介護保険計画があるなかで、今回の決定過程は乱暴な抜き打ち的な議論であったことは事実であったと思われます。岩手郡医師会のように地域医療の確保が最大の使命とするところは、これから我々の地域でリーダーシップが一層求められる時代に来ていると思われます。

5月16日には新任の日本医師会唐沢会長が記者会見をして医療改革法案には十分な審議をする要請をした翌日には、衆議院厚生労働委員会では自民党が強行採決を行い衆議院議員本会議に移ることになり、先日衆議院議員を通過したわけである。この法案により病院から追い出される患者や高齢者が沢山出ることが予想され、その受け皿も不十分な中で改革に踏み切る自民党の考え方は理解に苦しむところがありました。

また今回の診療報酬の改訂により、看護師の確保が困難となる中小病院が続出して、新看護配置基準を取得する病院が増加すると看護師は勤務環境の良い病院を求める傾向から、看護師確保が一層困難になることが予想される情勢であります。さらに一般病床100床未満の病院での経営の二極化が進むことが四病院団体協議会の緊急アンケートで明らかになり、今後さらに中小民間病院は経営面でかなりの優劣がついて行くことを暗示する結果になったと思われます。

このような環境下で自民党の丹羽雄哉社会保障制度調査会会长は5月22日都内で講演して、「少子高齢化社会のピークを迎える2025年になんでも、世界に冠たる国民皆保険制度が堅持されるように守ってゆくことが最大の命題である」と述べ、一人の高齢者を4人が支える現状から、10数年後には1.9人が一人の高齢者を支える時代に対応するための、準備として、医療改革が是非とも必要であるとの立場としては、「これ

までの冗漫な医療から、急性期を中心とした医療に改めていかないといけない」との理解を求める、平均在院日数を短縮するために「開業医を中心とした地域連携クリティカルパスの確立がなにより必要である」との考えを明らかにしている。これらの論旨の背景には今の医療が患者さんへの説明と同意を得つつ、安心で効率的な医療を求めていることが大きなトレンドであることを、知る必要があります。

先日、日本医師会唐沢会長は記者会見した現在の日医としてとり組むべき最大の課題として、医療制度改革法案への対応を挙げて、「われわれの意見を十分入れていただきたい」という流れなので、細やかな対応が要求される」と指摘している。療養病床の再編問題が地域医療に与える影響を危惧し、急激な変化を回避するための対応や在宅医療の体制整備を進めていく必要性を強調しております。

日本福祉大学の近藤克則教授は6月1日に開催された日本リハビリテーション医学学会学術集会で講演し、「医療改革とリハビリテーション医学のエビデンス」という内容で講演されました。その中で印象的だったのは、これまで医療の歴史的流れを遡り、Relmanによれば今の時代は「医療費抑制の時代」から「評価と説明責任の時代」への変化しつつある時代であるとの考え方を説明し、特に第3次医療革命の時代であることを強調されていました。その説明として1960年代が医療費拡大の時代であり、駆け込み病床等、病院のベッド数が増加した時代でもあります。また1980年代にはいり、医療費の抑制の時代に転換し、今日に至り、さらに今後は、医療の内容の質的評価と説明責任の時代であると述べておりますが、それはとりもなおさずエビデンスに基づく医療やインフォームドコンセントがその流れの具体的な表れであるといわれております。

いずれ、岩手郡医師会としてはこれらの課題はそく我が岩手郡医師会の地域医療の確保という課題と表裏一体の課題であり、最重要の課題であり、今後我々も様々な情報の展開への注意と啓発について全力をあげる必要があると思われます。医療改革のさなかで、それぞれの地域での医療機関の安定した経営環境の構築と様々な対応が、今最も求められている課題であります。

岩手郡医師会の今年度の大きな課題としては、これらの地域医療環境の変化に対応する力を持つ医師会へと成長が要求されているのではないかと思います。また医師不足の課題にどのように取り組むかは、全県下の最大の課題であります。



そのような環境下にもかかわらず、岩手町、零石町においては新しい会員が増加する方向に進んでいることは、誠に有り難いことであると喜んでおります。本年4月から玉山区の先生方が盛岡市医師会に異動されましたが、少しづつ、会員が増加する傾向にあることに、厳しいながらも新しい光が見えるような気がしてなりません。

また新年度は新たに、重点活動方針を4月11日の理事会で承認を得ております。第一には岩手県医師会親睦野球大会を成功裡に開催するための万全の準備を行うことです。第二には多くの会員が参加する医師会活動を目指すことであります。第三には地域医療の質的向上に資する学術研修活動を活発化することあります。また、第四には広報委員会、学校保健部会等で部会活動を行っている委員会もありますが、各委員会活動の活発化を図り、理事以外の諸先生方にも参加し易いような体制づくりをしたいということです。また第五には我が岩手郡医師会は地域が広範囲でありますので、IT化を図るための環境調査を行い、医師会会員に資するネットワーク作りを勧める計画策定に着手することあります。平成18年度は、このような目標を設定しておりますので、会員諸先生方のご理解とご協力を御願い申し上げます。

岩手郡医師会の会長に選任されて2期目の最初の通常総会となります、「温故知新」（：古きを温ねて新しきを知る）という言葉があります。その意味合いをよく意識・吟味しながら、これまでこの岩手郡医師会を育て築きあげてきた多くの先輩および関係各位の精神に学びながら今後の医師会活動に役立てて参りたいと存じます。

最後になりますが、本日の通常総会は夏の県医師会野球大会の開催準備のために例年より早い時期の開催となりました。今後の医師会活動の活発化のために積極的なご意見ご助言を頂きますよう重ねて御願い申し上げまして第1回通常総会における会長の挨拶に代えさせて頂きます。本日は本当に有り難う御座いました。

■■■ 特 別 講 演 ■■■

座長：及川 忠人 会長

講師：岩手医科大学医学部救急医学講座助教授

青木 英彦 先生

演題：「心臓性急死とAED」



プロフィール

氏名 青木 英彦

生年月日 昭和33年1月25日（満48才）

現住所 盛岡市若園町7-24-603 現職 岩手医科大学医学部／救急医学講座嘱託助教授

学歴及び職歴 昭和57年3月 岩手医科大学医学部卒業

平成元年8月 岩手医科大学高次救急センター助手

平成6年5月 岩手医科大学医学部救急医学講座講師

平成17年11月 岩手医科大学医学部救急医学講座嘱託助教授

西島康之先生瑞宝双光章受章
祝賀会並びに会員懇親会

進 行：久保谷康夫 先生

開 会：岡田 行生 副会長

会長挨拶：及川 忠人 会長

花束贈呈：小豆嶋純子 先生

記念品贈呈：及川 忠人 会長

受賞者謝辞：西島 康之 先生

アトラクション：アンサンブルの演奏

お開き：篠村 達雅 副会長



花束贈呈
(小豆嶋先生より)

お祝いの言葉

葛巻病院院長 高橋 克郎

このたび我が岩手郡医師会前副会長、西島康之先生が春の叙勲で瑞宝双光章を受章なさいました。1972年葛巻町で開業なさって34年間のへき地保健衛生が受章の対象であります。この34年の間、葛巻の地域医療を支えてきたことはもちろん、学校医、福祉関係の委員などを務めてきております。また職業性肺疾患「農夫肺症」を国内で初めて発見し、その診断・治療・予防を確立されました。町の清らかな水を守るため産廃最終処分場建設計画の反対運動の先頭に立つこともありました。また環境エネルギーを活用した介護老人施設を運営なさっております。いまや葛巻にはなくてはならない人です。おめでとうございました。そしてまだまだ葛巻のため岩手郡のためにお願いいたします。



理 事 会 議 事 錄

■■■■ 第1回 理事会議事録 ■■■■

日 時：平成18年4月19日（水）

19:00～20:00

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING 3階 桐

出席者：及川忠人、岡田行生、篠村達雅、
飯島 仁、上原充郎、久保谷康夫、
佐々木久夫、高橋克郎、高橋邦尚、
柄内秀彦、森 茂雄、山口淑子、
和田 進、高橋 孝、西島康之

報告事項

- (1) 第1回郡市医師会長協議会について（4月8日）
- (2) 岩手県医師連盟執行委員会について（4月8日）
- (3) 盛岡市医師会との覚書交換について
- (4) 法務局への理事変更届の提出について
- (5) 診療報酬改定説明会について（3月23日）

(1)～(5)について報告した。

協議事項

- (1) 平成18年度重点活動方針及び担当別事業計画と役割分担について承認した。
- (2) 平成18年度岩手県医師会各種委員会並びに部会幹事推薦（3月22日報告済）
- (3) 平成18年度主要行事計画について承認した。
- (4) 第58回岩手県医師会親睦野球大会実行委員会の設置について承認した。
- (5) 平成18年度保健体育事業の実施について承認した。
- (6) 会員、家族及び従業員の健康診断実施について承認した。 以上で議事を終了した。

■■■■ 第2回 理事会議事録 ■■■■

日 時：平成18年5月25日（木）

19:00～20:00

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING 3階 かえで

出席者：及川忠人、篠村達雅、岡田行生、
上原充郎、柄内秀彦、飯島 仁、
高橋克郎、和田 進、森 茂雄、
山口淑子

報告事項

- (1) 第1回親睦野球大会実行委員会（5月13日）について
- (2) 平成17年度社会保険担当者の集団指導、個別指導についての意見要望
- (3) その他 (1)～(3)について報告した。

協議事項

- (1) 平成18年度岩手郡医師会第1回通常総会について（6月10日）

- 特別講演会の内容及び講師について
- 懇親会及び瑞宝双光章祝賀会について検討した。

- (2) 平成17年度岩手郡医師会一般会計決算（案）等について承認した。

(3) 岩手郡医師会監事会について承認した。

(4) 野球大会開催の件

① 第58回岩手県医師会親睦野球大会収支予算(案)について

② 大会開催要項・大会次第・大会運営要項・大会役員等について

③ チームの結成と大会運営の協力要請について

④ 今後の取り組みについて検討した。

(5) 平成18年度学校・地域保健連携推進事への講師派遣について及川会長、上原理事、山口理事3人に人選をお願いした。

(6) 医師会入会の承認について承認した。

以上で議事を終了した。

■■■■ 第3回 理事会議事録 ■■■■

日 時：平成18年8月18日（金）

20:10～20:30

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡

NEW WING 3F

出席者：及川忠人、岡田行生、篠村達雅、
飯島 仁、上原充郎、久保谷康夫、
佐々木久夫、高橋克郎、高橋邦尚、
柄内秀彦、森 茂雄、山口淑子、
西島康之

報告事項

- (1) 第2回都市医師会長懇談会について
- (2) 岩手県医師連盟執行委員会について
- (3) 北東北自殺予防活動フォーラムについて

協議事項

- (1) 平成18年度岩手郡医師会町村民健康講座について
- (2) 救急医療月間行事（救急医療懇談会、救急蘇生研修会等）について
- (3) 平成18年度後半の主要行事計画について

お知らせ

平成18年度臨時総会開催のお知らせ

1. 日 時 平成18年11月25日（土） 17:00～
2. 場 所 ホテル東日本 3階 青雲の間
3. 議 題 等 ① 会務報告等について
② その他
4. 特別講演
演題：「重症循環器疾患の発症予防のための
新たなスクリーニング法の試み」
一心電図・血圧・脂質測定は効果的？—
講師：岩手医科大学医学部 第2内科教授 中村 元行 先生
5. 懇親会・忘年会 ホテル東日本 2階 末広の間



総務会報告

■■■■ 第 1 回 総務会 ■■■■

日 時：平成18年4月11日（火）

18：30～20：30

出席者：及川忠人、篠村達雅、岡田行生、

柄内秀彦、久保谷康夫、高橋邦尚

場 所：奥羽キリスト教センター（旧善隣館）

内みちのく愛隣協会事務室

報告事項

- (1) 盛岡市医師会との覚書交換について
- (2) 法務局への理事変更届の提出について
- (3) 診療報酬改定説明会について（3月23日）
- (4) 日本医師会選挙結果について（4月1日）
- (5) 第1回郡市医師会長協議会について（4月8日）

協議事項

- (1) 平成18年度重点活動方針及び部門別事業計画と役割分担について
- (2) 平成18年度主要行事計画について
- (3) 第58回岩手県医師会親睦野球大会の準備について
- (4) 平成18年度保健体育事業の実施について

■■■■ 第 2 回 総務会 ■■■■

日 時：平成18年5月16日（木）

18：30～20：30

出席者：及川忠人、篠村達雅、柄内秀彦、

高橋邦尚

場 所：奥羽キリスト教センター（旧善隣館）

内みちのく愛隣協会事務室

報告事項

- (1) 第1回野球大会実行委員会（5月13日）
- (2) 平成17年度社会保険担当者の集団指導、個別指導についての意見要望

協議事項

- (1) 平成18年度岩手郡医師会第1回通常総会について（6月10日）
 - 特別講演会について
 - 瑞宝双光章受章祝賀会並びに懇親会について
- (2) 平成17年度岩手郡医師会一般会計決算等（案）について
- (3) 岩手郡医師会監事会について（6月6日）
- (4) 野球大会準備に関する件
 - ① チーム編成について
 - ② 今後の取り組みについて

■■■■ 第 3 回 総 務 会 ■■■■

日 時：平成18年8月10日（木）
19:00～20:30

出席者：高橋牧之介、及川忠人、篠村達雅、
岡田行生、柄内秀彦、高橋邦尚

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING 1階 対い鶴

報告事項

- (1) 第2回郡市医師会長懇談会（7月15日）について
- (2) 第58回岩手県医師会親睦野球大会準備進捗状況について

協議事項

- (1) 第58回岩手県医師会親睦野球大会準備・役割分担等について
 - ① 第58回岩手県医師会親睦野球大会役割分担表
 - ② タイ開会式進行要領
 - ③ タイ表彰式・懇親会進行要領
 - ④ タイ今後の準備日程
- (2) 平成18年度町村民健康講座の開催期日及び担当について
- (3) 救急医療月間行事について
- (4) 平成18年度後半の主要行事計画について

■■■■ 第 4 回 総 務 会 ■■■■

日 時：平成18年9月14日（木）
19:00～20:30

出席者：及川忠人、岡田行生、篠村達雅、
柄内秀彦、久保谷康夫、高橋邦尚

場 所：奥羽キリスト教センター（旧善隣館）
内みちのく愛隣協会事務室

報告事項

第58回岩手県医師会親睦野球大会実施結果について

- ① 参加人員の状況
- ② 決算見込みの状況

協議事項

- (1) 救急医療月間行事について
 - ① 平成18年度岩手郡救急医療対策協議会の開催
 - ② 救急医療講演会の開催
 - ③ 「心肺蘇生法」講習会
- (2) 平成18年度社会保険担当者研修会（集団指導）について
- (3) 平成18年度岩手郡医師会町村民健康講座について
- (4) 平成18年度後半の主要行事計画について

各 部 会 活 動

■■■ 自殺予防対策意見交換会、 メディカルコントロール伝達会 ■■■

平成18年2月27日(月)午後6時30分から零石町青湖苑で開かれた。出席者は岩手県精神保健福祉センター保健師、岩手医大精神神経科医師、盛岡保健所保健師、零石町役場経営推進課、福祉課、保険課、健康推進課、各課長、主査、保健師計9名、零石町の岩手郡医師会会員15名 合計28名であった。講話として岩手県精神保健福祉センターにおける自殺予防対策について、岩手医科大学付属病院における自殺予防対策について、零石町に於ける自殺予防に関する事業について、盛岡保健所の精神保健業務についての4つであった。その後盛岡いのちの電話への協力要請、自死遺族への支援体制の構築（3月4日の講演会について）2次被害、りんどうの会、自殺の背景など意見交換をした。最後に盛岡地域メディカルコントロール協議会の報告、協力依頼があり終了した。 (総務部会 篠村達雅)

り立っている。事務局は岩手県盛岡保健所にある。

今回の議題は保健所における相談件数はのべ32件であったこと、そして主な相談内容と対応についての報告があった。また平成17年度盛岡地域医療安全対策研修会の開催についての報告もあった。そして医療相談体制及び医療安全における保健所機能について、全体で協議した。

(副会長 高橋 孝)

■■■ 岩手県医師国民健康保険組合会 ■■■

平成18年3月11日(土)午後2時から岩手県医師会館で第118回の会が開かれ、上原充郎先生と出席した。工藤次郎理事長の挨拶があり平成17年度岩手県医師国民健康保険組合上半期事業報告の報告、次に議事として平成17年度歳入歳出第2次補正予算について、規約の改正、平成18年度の事業計画、歳入歳出予算についての議案が提出され議決された。

(副会長 高橋 孝)

■■■ 盛岡地域医療相談体制連絡協議会 ■■■

平成18年3月7日(火)15時から県民会館会議室で開催された。この会は医療関係として盛岡市医師会、岩手郡医師会、紫波郡医師会、岩手医科大学医師会、盛岡市歯科医師会、岩手郡歯科医師会、稗貫紫波歯科医師会、盛岡市薬剤師会、岩手県看護協会盛岡地区支部、岩手県臨床工学技師会、法律関係からは岩手弁護士会、病院関係からは岩手県立中央病院、行政からは岩手県立県民生活センター、岩手県盛岡保健所から成

■■■ 第2回盛岡市と玉山村の合併に伴う 盛岡市医師会と岩手郡医師会の協議会 ■■■

平成18年3月13日

平成18年1月10日に盛岡市と玉山村が合併し、新しい盛岡市が誕生した。これに伴い玉山村に在住する岩手郡医師会会員が盛岡市医師会に入会するに際しての覚書を出席者全員で確認、承認され、両医師会会长による署名が行われた。出席者は岩手郡医師会から及川忠人会長、西島副会長、柄内、篠村、久保谷、三善、成島の各理事そして

八角病院理事長八角正司先生、佐々木事務局長、盛岡市医師会からは臼井康雄会長ら8人の先生方と小野家事務局長であった。その後の懇親会では、終始和やかな雰囲気の中で合併後の課題等について懇談した。

(総務部会 篠村達雅)

■■■ 岩手郡医師会診療報酬改定説明会 ■■■

平成18年3月23日(木)午後6時から、18年4月1日から施行される診療報酬について説明会が岩手県医師会館4階大ホールにて開催された。篠村達雅理事の司会進行の下、及川忠人会長が挨拶に続いて改定の概要について、次に診療所関係を佐々木久夫先生、病院関係を久保谷康夫先生、お二人の医療保険担当理事の説明があった。68医療機関中60施設の参加があり150名の方が熱心に聴講した。(医療保険部会 佐々木久夫)



■■■ 盛岡地域思春期保健連絡会議 ■■■

平成18年3月28日(火)15時から岩手県公会堂会議室にて17年度の会議が開催された。この会は思春期の健康と性の問題と思春期

の心の問題が深刻化し社会問題化していることから、保険、医療、福祉、教育等の関係機関・団体と連携しながら、思春期保健対策の強化と健康教育の推進を図り、持つて健全な子どもの育成に資することを目的とした会である。事務局は盛岡保健所で盛岡地域の医師会、盛岡市医師会、岩手郡医師会、紫波郡医師会、薬剤師会、管内市町村、学校保健会、P T A連絡会、盛岡教育事務所、岩手県警少年課、市町村少年センター、岩手県福祉総合相談センター、岩手県精神保健センター、岩手県環境保健研究センターから構成されている。

今回の内容は平成17年度の各団体の取り組みと成果が報告され当医師会からの山口のやっている滝沢村内小学校6年生を対象とした思春期講演会の概要と反応についてを報告した。(学校保健部会 上原充郎)

■■■ 岩手地区学校保健会評議員会・理事会 ■■■

平成18年5月9日(火)18時30分から盛岡市渋民文化会館において、平成18年度第1回の会議が開催された。これは岩手地区(八幡平市、岩手町、葛巻町、零石町、滝沢村)の学校保健会と岩手郡医師会、岩手八幡平歯科医師会が学童、生徒の健康増進と管理について一緒にになって考え遂行していくという会である。当医師会からも佐々木久夫、藤井裕、山口淑子が理事になっている。今回の会は平成18年に行う予定の研究大会について話し合い10月1日(日)盛岡市姫神ホールにて行うことが決定した。

(学校保健部会 山口淑子)

■■■ 第1回岩手郡医師会学校保健部会 ■■■

平成18年6月5日

出席：及川忠人会長、上原充郎担当理事、
山口淑子担当理事、西島康之、
高橋克郎、藤井 裕
場所：奥羽キリスト教センター（財）みちのく
愛隣協会事務室

協議事項

- 1 平成17年度岩手郡医師会学校保健活動報告
- 2 平成18年度活動目標の確認
- 3 平成18年度学校・地域保健連携推進事業への協力の件（広報部会 山口淑子）

■■■ 岩手県医師会勤務医部会幹事会 ■■■

平成18年6月10日、岩手県医師会館で開かれた。部会長・副部会長選挙が行なわれ、部会長に望月泉、副部会長に久保直彦、佐藤元昭、増田友之の各氏が選ばれた。移動幹事会は二戸で開催されることになった。

平成18年度事業計画

- (1) 医療連携の強化及び医療機能分担の推進
- (2) 新医師臨床研修制度への積極的対応
- (3) 勤務医に魅力ある医師会づくりと加入促進
- (4) 勤務医の労働環境の向上

（勤務医部会 岡田行生）

■■■ 第1回岩手郡医師会広報委員会 ■■■

平成18年6月20日

出席：及川忠人会長、柄内秀彦、紺野敏昭
小豆嶋純子、山口淑子
場所：奥羽キリスト教センター（財）みちのく
愛隣協会事務室

協議事項 1 平成18年度岩手郡医報発行計画
2 郡医報85号計画

（広報部会 山口淑子）

■■■ 岩手医学会総会、評議員会 ■■■

平成18年6月25日、宮古市浄土ヶ浜パークホテルで開催された。17年度会務報告・決算報告、18年度会務計画・予算報告、第117回岩手医学会秋季総会を18年11月26日岩手県医師会館で開催される。

（副会長 岡田行生）

■■■ 盛岡地区二次救急医療対策委員会 ■■■

平成18年6月27日、二次救急、小児救急輪番の年度毎の患者データが示された。また小児救急医療電話事業等が報告された。また7月の二次救急の日程表が提示され今後の日程について等協議された。

（副会長 岡田行生）

■■■ 平成18年度岩手県医師会広報委員会 いわて医報編集委員連絡協議会 ■■■

平成18年7月1日

場所：岩手県医師会館 視聴覚室
出席：医師会広報委員17名 医報編集委員7名
1) 会長挨拶：石川会長
2) 任期満了の田郷敏昭委員長 齊藤恵子
副会長が互選に依り再選
3) 報告 平成17年度事業についての報告
がなされた。

- ① 平成17年度北海道・東北ブロック医師会広報担当理事連絡協議会
- ② 平成17年度岩手県医師会広報委員・
いわて医報編集委員連絡協議会
- ③ いわて医報編集委員会（12回／年）
→医報にて報告済
- ④ IBCラジオ放送「健康で長生きする
ために」（毎週日曜日AM9:30）
- ⑤ JA情報誌LIV県医師会コーナー

「医学アラカルト」(12回／年)

- ⑥ あさひGENKI俱楽部「健康アドバイス」(毎月15日朝日新聞折込)

- ⑦ 岩手日報掲載「お元気ですか」
(毎月最終火曜日掲載)

4) 協議

- ① 平成18年度事業計画・予算について
(平成17年と同内容の予定)

- ② JA情報誌「LIVE」について

- ③ いわて医報について

- ・広報は予算がかかる。予算が少ないが予算の範囲内で頑張る
- ・都市医師会活動を通じetcをアピールする事が広報につながる
- ・読んでもらえる医報にしたい
- ・平成18年度いわて医報掲載予定に関し
7月現在、岩手郡関連事項なし

(広報部会 栄内秀彦)

■■■ 第18回東北学校保健・学校医大会 ■■■

平成18年7月23日、青森県医師会担当で青森市で開催されました。一般演題開始が9時ということで、前日からスタンバイしました。岩手県からの一般演題は「岩手県における平成16年度耳鼻咽喉科学校健診状況」と題し県学校医部会副会長の南吉昇先生が県教委の協力を得、健診の実施状況を検討し、その結果を発表なさった。現在の耳鼻咽喉科医師の地域偏在と高齢化の問題があげられ全県的な健診に対する早急な再構築を検討しているということであった。

特別講演は「子どもの事故は予防できる——事故による傷害の実態と予防へのアプローチ——」と題して横浜市の山中龍宏先生(子どもの事故予防情報センター代表)

のお話だった。日本の子どもの不慮の事故は1960年以降、0歳をのぞく小児の死因の第1位であり今後も不動の位置であろう。事故は小児の最も重要な健康問題と認識する必要がある。そして「プールの排水口の事故」の講演を聴いて数日もしないうちに埼玉県で死亡事故があり驚かされた。そのほか学校現場での事故の事例などが示され事故予防の大切さを再認識させられました。

午後は「学校保健における特別支援」というテーマでシンポジウムが行なわれた。岩手県からは「岩手県内における性教育実施状況の解析 アンケート調査より」と題して県医師会常任理事の黒川賀重先生が発表なさった。平成14年に岩手県医師会内に医師、教師、養護教諭、等による思春期対策委員会をたちあげ性教育用のパンフレット、ポスター、小冊子やCD-ROMを作成し普及に努めたこと。そして今回はその教材の活用状況と県内中学校における性教育の現況に関するアンケート調査結果の発表であった。性教育の実施状況では学校規模や地域による差が認められたものの、実施することによって生徒、教師、保護者に意識面、行動面に変化が認められそれが相互に影響しあっていることが推測された。私は滝沢村の小学校において思春期授業を行なっており今年で5年目になるが、今後の授業のバージョンアップにつながる一般演題、シンポジウムであった。また小児科医として、医師として子どもの事故予防にもっと関わっていかなくてはならないと考えさせられた大会であった。

(学校保健部会 山口淑子)

■■■■■ 会員の入会・退会・異動等 ■■■■■

【入 会】

入会月日	所属施設名	氏 名	年齢	主な診療科	区分	出身大学	備 考
4月1日	ニユ一鶯山荘 クリニック	原田 達男	39	精、神経、 脳外	A ①	川崎医科大学	新規開業
4月1日	鶯宿温泉病院	石田 薫	48	外、呼、 消、胃	A ①	岩手医科大学	医大から
4月1日	同 上	瀬川 泰幸	32	整、麻	A ②	岩手医科大学	医大から
5月1日	八幡平市 国保西根病院	嶋 信	65	内	A ②	岩手医科大学	盛岡市医師会から
9月1日	零石大森クリニック	大森 浩明	46	胃、肛門、 外、内、消	A ①	岩手医科大学	新規開業
9月1日	零石大森クリニック	大森 可芽里	43	眼	B	岩手医科大学	新規開業

【退 会】

退会月日	所属施設名	氏 名	備 考
3月31日	八角 医院	八角 正司	盛岡市医師会へ異動
3月31日	八角 病院	遠藤 憲幸	同 上
3月31日	同 上	三善 悟	同 上
3月31日	成島整形外科医院	成島 勝之助	同 上
3月31日	秋浜内科クリニック	秋濱 玄	同 上
3月31日	同 上	秋濱 朋子	同 上
3月31日	玉山岡本病院	坂本 文明	同 上
3月31日	同 上	坂本 牧子	同 上
3月31日	渋民中央病院	清水 光昭	同 上
3月31日	同 上	宮川 慶吾	同 上
3月31日	鶯宿温泉病院	薄井 知道	北上医師会へ
3月31日	同 上	小栗 正巳	退職による

【異 動】

異動月日	所属施設名	氏 名	異 動 の 内 容	
			異動区分	異動後の施設名
4月1日	鶯宿温泉病院	久保谷 康夫	施設異動	おうしゅくクリニック
4月1日	同 上	小山田 喜敬	施設異動	栄内病院第二病院
8月1日	あべ整形外科医院	阿部 克久	法人化	あべ整形外科の実会院

編 集 後 記

先日、八幡平での産業医講習会に出席し、帰りにちょっと足を伸ばし森の大橋からの素晴らしい紅葉を見てきました。3年前に大学のクラス会を八幡平で開き、全国から友人が集まりました。参加者全員から感激の言葉をいただきましたが、何度見ても八幡平の紅葉は最高です。その紅葉もあっという間に里に下りてきてあの寒~い冬にまっしぐらという感じの今日この頃です。

85号発行が大変遅くなり、申し訳ありませんでした。前編集委員の成島先生のご苦労、今更ながら感服いたしております。続いて86号の編集に取り掛かっておりますが、あの岩手県医師会親睦野球大会特集号を企画しました。11月中に発行いたしますので、楽しみ?にしていてください。（山口淑子）



岩手郡医報：No.85／2006年10月発行
発 行：社団法人 岩手郡医師会
発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人
事 務 局：〒028-7303 八幡平市柏台二丁目8番2号東八幡平病院内
TEL 0195-78-2607 FAX 0195-78-2555
<http://www.iwategun-med.or.jp>
制 作：社団法人 岩手郡医師会広報部